



TITLE:

格子欠陥(サブゼミ,サブゼミの報告  
,1985年度物性若手夏の学校報告)

AUTHOR(S):

杉本, 秀彦; 石井, 晃; 門野, 良典; 上殿, 明良

---

CITATION:

杉本, 秀彦 ...[et al]. 格子欠陥(サブゼミ,サブゼミの報告,1985年度物性若手夏の学校報告). 物性研究 1986, 46(3): 345-345

ISSUE DATE:

1986-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/92063>

RIGHT:

でした。

最後に、大変お忙しいにもかかわらず、講師、発表者を引き受けて下さった、元屋先生、小林さん、川越さん、及び御協力下さった皆様に心からお礼を申し上げます。

(世話人 埼玉大・理 稲生俊雄)

## サブゼミ 「格子欠陥」

### プログラム

「荷電粒子の金属中での拡散」杉本秀彦(中央大・理工・物理)

「固体表面における低速陽電子」石井 晃(早大・理工)

「金属中の正ミュオンの拡散」門野良典(東大・理・物理)

第1日には、杉本先生に水素同位体、正ミュオン、陽電子の拡散について講演していただき、2日目には石井氏、門野氏により陽電子と正ミュオンについての最近の進展を話していただいた。

初日の夜にはコンパを催し他大学の人々との交流を深めた。

最後に、杉本先生、石井氏、門野氏にこの場を借りて御礼申し上げます。

(世話人 筑波大・物質 上殿明良)

## サブゼミ 「物性基礎論Ⅱ」～Brain～

**Brain**は、参加人数40名。——1日目はおとなしくチューターの自己紹介から始まった。はじめに池上はスピングラスの理論と脳の問題について簡単に紹介し、つづいて津田氏が生理学的見地から脳の構造を解説、奥村女史が最近の彼女の人工知能の研究について話をし、池田氏とやりとり。ここでコーヒータ임。

この後、ゼミは会場を狭い教室から夏草生い茂るゲレンデに所を移し、小グループに分かれて話し合いが行なわれた。松本氏のまわりでは氏の粘菌の研究について、池上のまわりでは最近の神経ネットワークモデルについて、津田氏・金子氏のまわりでは脳におけるカオスの役割、はてはガイア理論にまで話は及んだ様である。

1日目の夜はコンパもありあがり、脳にアルコールを与えるとどのようなレスポンスがみられるかの研究も行なわれた。